

只木ゼミ前期第8問検察反対尋問レジュメ

文責:4班

I. 反対尋問

- 5 1. 1頁24行目の「国民の納得する非難可能性」とはどのようなことか。
2. 外部的要因によって中止したが「自己の意思によって」とする場合、国民の納得する非難可能性の観点から、その根拠をどのように説明するか。
3. 1頁31行目の「実行行為の危険性が無かった場合」とは、実行行為が結果発生危険性を欠いていた場合を指すのか、実行行為が持つ危険が実際には発生しなかった場合を指しているのか。
- 10 4. B説(因果関係必要説)を採用しない理由に関して、障害未遂においても減刑をすることは可能であるからB説を採用しても不均衡は生じないのではないか。

以上